

第10章 水資源に関する理解の促進

1 「水の日」及び「水の週間」

政府は、水の貴重さや水資源開発の重要性に対する国民の関心を高め、理解を深めるために、毎年8月1日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として定め（昭和52年5月31日閣議了解）、水に関する各種の行事を国、地方公共団体及び関係諸団体の緊密な協力のもとに実施している。

平成18年の「水の日」及び「水の週間」は第30回目を迎え、以下の行事が実施された（表10-1-1）。

① ウォーターフェア '06東京

「水の週間」の中央行事として、東京都千代田区の科学技術館において、「水の週間」記念式典を実施した。また、同館において水の展示会を開催した。

② 第28回「全日本中学生水の作文コンクール」

「水について考える」をテーマに、中学生（海外在住の日本人中学生を含む）による作文コンクールを実施した。

③ 平成18年度水資源功績者表彰

水資源行政の推進に、特に顕著な功績のあった個人又は団体を表彰した。

④ 第21回「水とのふれあいフォトコンテスト」

「水辺の憩い・水のある風景」、「暮らしの中で毎日使う水」、「作物や草木を育て、エネルギーを生む水」などをテーマにフォトコンテストを実施した。

⑤ 第26回「ウォーターフェア隅田川レガッタ」

一般、大学、中学生によるエイト、ナックルフォアを実施した。また、表彰式にあわせて「水の週間」の趣旨を訴えるシティーアピールを行った。

⑥ 全国各地で、水に関する展示会、講演会、シンポジウム、水資源開発施設見学会、水源地域と水消費地域の人々の連帯意識醸成のための上下流交流会などが開催された。

（表10-1-2）

平成19年の「水の週間」は、前年同様、水に関する様々な行事の実施を通じて水についての国民の関心を一層高め理解を深めるとともに、5年に1度開催している「水資源に関するシンポジウム」を実施し、関係機関や学識経験者等と意見・情報交換を行うこととしている（表10-1-3）。

表10-1-1 第30回「水の週間」(2006年度) 都道府県等行事一覧

項目 都道府県名	ポ ス タ ー	パ ン フ レ ッ ト	講 演 会 ・ シ ン ポ ジ ウ ム	映 画 会 ・ 音 楽 会 ・ 研 修 会	施 上 下 見 流 学 交 会 流	街 頭 キ ャ ン ペ ー ン ト	ア ン ケ ー シ ョ ン	展 示 会	水 の 作 文 コ ン ク ー ル	広報・PR活動等					
										テ レ ビ	ラ ジ オ	新 聞	広 報 紙	ホ ー ム ペ ー ジ	懸 垂 幕 ・ 横 断 幕 電 光 掲 示 板 ・ 立 看 板
全 国	47	47	8	21	5	16	47	7	11	12	19	27	17		
北海道	○	○		☆			◎					○			
青森県	○	○					◎					○	○		
岩手県	○	○	○				◎			○					
宮城県	○	○					◎					○			
秋田県	○	○		☆			◎								
山形県	○	○			☆		○				☆		☆		
福島県	○	◎	☆	◎		☆	◎			○	◎	◎	○		
茨城県	○	○	○	◎			◎			○	○	○			
栃木県	○	○	○				◎				○	○			
群馬県	○	○		◎		○	◎	○	○	○	○	○			
埼玉県	○	○		◎			◎		○	○		○			
千葉県	○	○		○		○	◎					○	○		
東京都	○	○	○	○		○	◎			○	○	○			
神奈川県	○	○				◎	◎				○	☆			
新潟県	○	○					◎	○			☆				
富山県	○	○		☆			◎			○					
石川県	○	○					◎								
福井県	○	○				◎	○			○			○		
山梨県	○	○					○								
長野県	○	○		◎			○						○		
岐阜県	○	○		○		☆	◎					○			
静岡県	○	○	○				◎		○				○		
愛知県	○	○	☆	◎		○	◎	○	○			○	○		
三重県	○	○		☆			◎					○	○		
滋賀県	○	○					◎					○			
京都府	○	○					○	◎	○		○	○			
大阪府	○	○		☆		☆	◎				☆	◎	☆		
兵庫県	○	○					◎								
奈良県	○	○		○			◎	○			○	○			
和歌山県	○	○					◎				○				
鳥取県	○	○					○								
島根県	○	○					◎				○	○			
岡山県	○	○		○			◎								
広島県	○	○					◎				○	○			
山口県	○	○					◎			○					
徳島県	○	○			○		◎		○				○		
香川県	○	○		○			○								
愛媛県	○	○		☆		◎	○		○		○		○		
高知県	○	○		◎	◎		◎				○		○		
福岡県	○	○			◎		◎	○	○		○	○	○		
佐賀県	○	○					◎				○	○			
長崎県	○	○		☆	☆		◎		○			○			
熊本県	○	○	◎				◎			○		○			
大分県	○	○		☆			◎					○	○		
宮崎県	○	○					◎		○	○			○		
鹿児島県	○	○					◎				○	○			
沖縄県	○	○					◎	○	○	○		○	○		

(注) 「ポスター」欄の○は、全国共通版(国土交通省作成)を配布したことを示す。
「パンフレット」欄の○は、「日本の水2006」(制作: 助水資源協会)を配布したことを示す。
「作文コンクール」欄の◎は、都道府県レベルでの「地方表彰」を行っていることを示す。
それ以外の欄の◎は都道府県に加えて市町村等が独自に取り組んでいることを示し、☆は市町村等のみが独自に取り組んでいることを示す。

表10-1-2 全国各地で行われた水を中心とする地域イベント事例（2006年度）

都道府県	行事名	開催期日	主催・共催	主な内容	開催地
岩手県	岩手県「水の週間」記念式典	8月5日	岩手県NPO法人環境パートナーシップいわて	表彰、記念講演等を実施。また、「安全で豊かな流域の持続のために」と題したフリートークも行われた。	奥州市
福島県	うつくしま『水との共生』フォーラム	9月9日	福島県	養老孟司氏による「いちばん大事なことー養老教授の環境論ー」と題した基調講演等が行われた。	喜多方市
茨城県	湯西川ダム水源地交流事業（児童交流）	8月7～8日	国土交通省湯西川ダム工事事務所、茨城県、栃木県、日光市、つくばみらい市	水源地域と利水地域の児童による交流会を実施。	行方市
栃木県	水の講演会	8月7日	栃木県水の週間実行委員会	ダニエル・カール氏による「貴重な資源である水」と題した講演。	宇都宮市
群馬県	ぐんまウォーターフェア	7月29日～8月2日	群馬県	ペットボトルを利用した模型展示を始め、各種パネル及び模型の展示。	前橋市
埼玉県	水源わくわくセミナー	7月24～25日	国土交通省八ッ場ダム工事事務所、埼玉県、群馬県、長野原町	埼玉県内から小学生らが八ッ場ダム建設地である群馬県長野原町を訪問し、地元の小中学生とサッカー教室による交流を実施。	長野原町
神奈川県	かながわの水資源展	7月下旬～8月上旬	「かながわの水資源展」実行委員会	水資源の重要性について、県民への広報・啓発を進めるため、パネルの展示や広報資料の配布を行った。	相模原市 横須賀市 横浜市 川崎市
山梨県	「森の国・水の国」シンポジウム	9月21日	山梨県	講演及びパネルディスカッションなどを行った。	甲府市
愛知県	水の音楽会	7月29日	名古屋市	名古屋フィルハーモニー・ポップスオーケストラによる水にちなんだ曲等の演奏。併せてきき水も実施。	名古屋市
京都府 三重県 滋賀県 大阪府 兵庫県 奈良県	第3回琵琶湖・淀川流域水の作文コンクール	7月	琵琶湖・淀川流域水の作文コンクール実行委員会	琵琶湖・淀川流域の府県が連携し、広く水に対する関心を高め、理解を深めるとともに、「流域」の視点を啓発することを目的に、優秀作品を流域賞として表彰。	京都府 三重県 滋賀県 大阪府 兵庫県 奈良県
鳥取県	水の旅見学会	8月20日	鳥取県	小学生の親子を対象に、上下・水源地の見学を通じ、水の循環、適正な利用と浄化等について学習し、水の大切さについて理解を深めた。	倉吉市他
徳島県	水の週間 in 那賀川	7月24～25日	「水の週間 in 那賀川」実行委員会	阿南の夏まつりの街頭パレード、パネル展示等を実施。	阿南市
	水の週間 in 徳島	8月1日	「水の週間 in 徳島」実行委員会	徳島駅前において、啓発パンフレット及びグッズを配布。	徳島市
高知県	子ども水の旅	8月2日	高知県	小学生が四万十川源流を探訪。家地川ダム等の施設を見学し、水の重要性やダム構造・必要性等を学んだ。	津野町、 四万十町等
長崎県	第18回水フェスタ	8月20日	長崎市	クイズコーナー、カーリング大会のような遊びも交えて、水の大切さを訴えた。	長崎市
熊本県	くまもと水の週間記念式典	8月1日	熊本県、熊本市	表彰、記念講演等を実施。水のポスターコンクールを独自に実施し、表彰。	熊本市
鹿児島県	第7回池田湖水フェスティバル	8月19日	池田湖水質環境保全対策協議会	湖周辺の清掃活動後、モーターボートでの湖の観察、カヌー教室等を実施。	指宿市

表10-1-3 第31回「水の週間」の実施計画

行 事	実 施 計 画	備 考
ポスターの掲示	「水の週間」広報用ポスターを都道府県，市町村，小中学校等に配布	
パンフレットの配布	「日本の水2007」を小中学校等に配布し，施設見学会，講演会等に活用	
ウォーターフェア'07東京	「ウォーターフェア'07東京」 1) 水の週間記念式典（科学技術館：7月27日） 2) 記念講演（科学技術館：7月27日） 3) 水の展示会（科学技術館：7月27日～30日）	主催：国土交通省，東京都，実行委員会 後援：文部科学省，厚生労働省，農林水産省，経済産業省，環境省，(独)水資源機構，日本放送協会，(社)日本新聞協会，(財)日本科学技術振興財団
水資源功績者表彰	水資源行政の推進に，特に顕著な功績のあった団体等に国土交通大臣表彰を授与	主催：国土交通省
水資源に関するシンポジウム	第7回「水資源に関するシンポジウム」 テーマ「どうなる水と暮らし？ －気候変動，安全・安心と水資源－」 期間：8月3～4日 場所：東京都庁	主催：日本学術会議，水資源に関するシンポジウム委員会
水の作文コンクール	第29回「全日本中学生水の作文コンクール」 テーマ「水について考える」 優秀作品には，国土交通大臣賞等を授与	主催：国土交通省，都道府県 後援：文部科学省，全日本中学校長会，(独)水資源機構，実行委員会
ウォーターフェア隅田川レガッタ	第27回「ウォーターフェア隅田川レガッタ」 日時：8月5日 11：00～ 場所：隅田川（桜橋上流～吾妻橋）	主催：(社)東京都ボート協会，実行委員会 後援：国土交通省，東京都他
上下流交流	(1) 利根川水系上下流交流会 7月27日（記念式典参加等） (2) 草木湖まつりでの上下流交流会 8月15日（交流会参加支援等）	主催：実行委員会 協力：群馬県，東京都，(独)水資源機構
フォトコンテスト	第22回「水とのふれあいフォトコンテスト」 優秀作品には，国土交通大臣賞等を授与，入選作品は水の展示会で展示	主催：実行委員会 後援：国土交通省，東京都，(独)水資源機構
広報	新聞，雑誌，政府広報等において各種の広報活動を実施	
その他各地での特色ある行事	全国各地で，①水資源施設見学会，②講演会等，③展示会等の多彩な催しを実施	

(注)「実行委員会」とは、「水の週間実行委員会」をさす。

2 水の郷百選

国土交通省では，水環境保全の重要性について広く国民にPRし，水を守り水をいかした地域づくりを推進するため，地域固有の水をめぐる歴史・文化や優れた水環境の保持・保全に努め，水と人との密接なつながりを形成し，水をいかしたまちづくりに優れた成果をあげている107地域を「水の郷百選」として認定している（参考10-2-1，参考10-2-2）。

平成19年3月には，第12回全国水の郷サミットが，「地域資源を活かし，知恵と工夫で持続的な活性化を」のテーマの下，国土交通省講堂で開催され，水の郷市町村に広く存する「水」及びその源である「森林」を活かした今後の地域づくりについて，講演・意見交換が行われたところである。水の郷市町村の概要やサミットの結果等については，国土交通省のホームペー

ジの「水の郷」の水の郷のコーナーに掲載されている。

(<http://www.mlit.go.jp/tochimizushigen/mizsei/mizusato/index.htm>)

3 国連水の日－水資源学シンポジウム

平成4年12月の第47回国連総会本会議において、平成5年から毎年3月22日を「国連水の日」(World Day for Water)とし、この日には、水資源の保全・開発等に関して各種啓発活動を行うこととされた。これは、平成4年6月にブラジルで開催された「環境と開発に関する国連会議(UNCED)」において採択された、21世紀に向けた行動計画である「アジェンダ21(持続可能な開発のための行動計画)」の第18章「淡水資源の質と供給の保護」の中で、水問題に関する啓発と教育のために、国連水の日での検討が求められていたことを受けたものである。

我が国では、「国連水の日」の記念行事として、平成6年3月から水資源学シンポジウムを日本学術会議土木工学・建築学委員会、水文・水資源学会と国土交通省水資源部の3者が共催して開催している。

〈トピックス〉 第30回「水の週間」記念式典を開催

今年は31回目の「水の日（8月1日）」および「水の週間（8月1日～8月7日）」を迎える。「水の日」「水の週間」は、水の有限性、水の貴重さおよび水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めることを目的に昭和52年5月31日に閣議了解として定められ、以来、毎年活動を重ね、昨年で30回目を迎えた。7月28日に科学技術館（東京都千代田区）のサイエンスホールで第30回「水の週間」記念式典を開催するとともに、7月28日から8月1日まで同所2階展示ホールにて「水の展示会」を実施した。

昨年は節目の年にあたることから、皇太子殿下に「水の展示会」へお越しいただいた。皇太子殿下は、吉田博美国土交通政務官や青山俊樹水の週間実行委員会会長から「水の日」「水の週間」の主旨説明を聞かれ、その後、各展示ブースをご覧になられた。利根川上流河川事務所ブースでは、ヨシを使用した紙漉体験をしている子供達と言葉を交わされた。

一方、記念式典では、江崎国土交通副大臣の主催者挨拶にはじまり、内閣総理大臣のあいさつ（代読）、水源地域からのメッセージが披露され、続いて平成18年度水資源功績者、第21回「水とのふれあいフォトコンテスト」の表彰が行われ、表彰状が授与された。

さらに、「水の週間」行事の一環として、広く水に対する関心を高め理解を深めることを目的に作文コンクールを実施しており、第28回「全日本中学生水の作文コンクール」において、山本ひかりさん（神奈川県聖園女学院中学校）の「水道水と下水の関係から学んだこと」が最優秀賞（国土交通大臣賞）に選ばれた。表彰式では、ご本人による朗読も行われた。式典後には、放送大学の丹保憲仁学長から「水をめぐる二つのPPP（Polluter Pays Principle and Private Public Partnership）」の記念講演が行われた。



山本ひかりさん



丹保憲仁放送大学学長